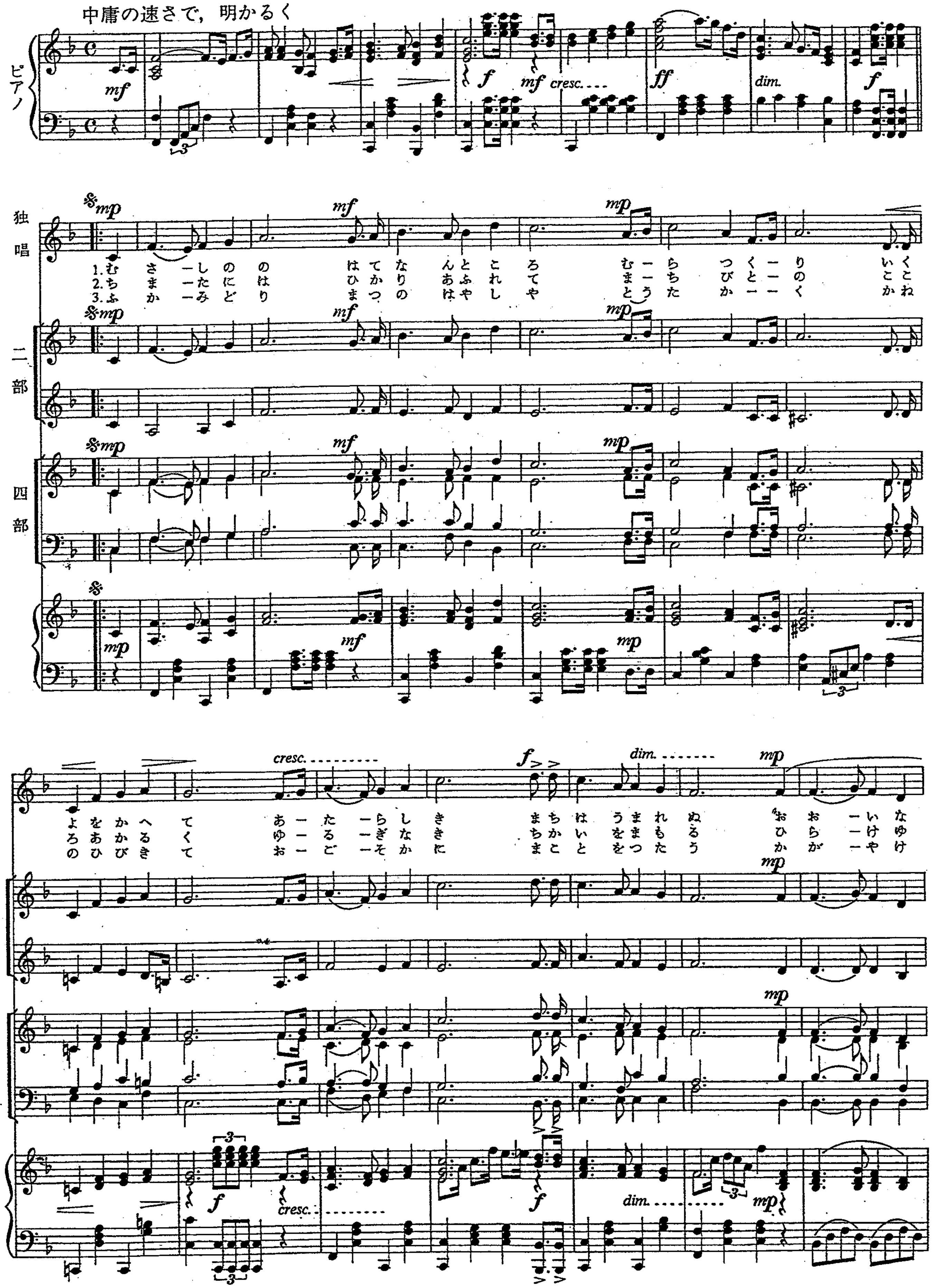
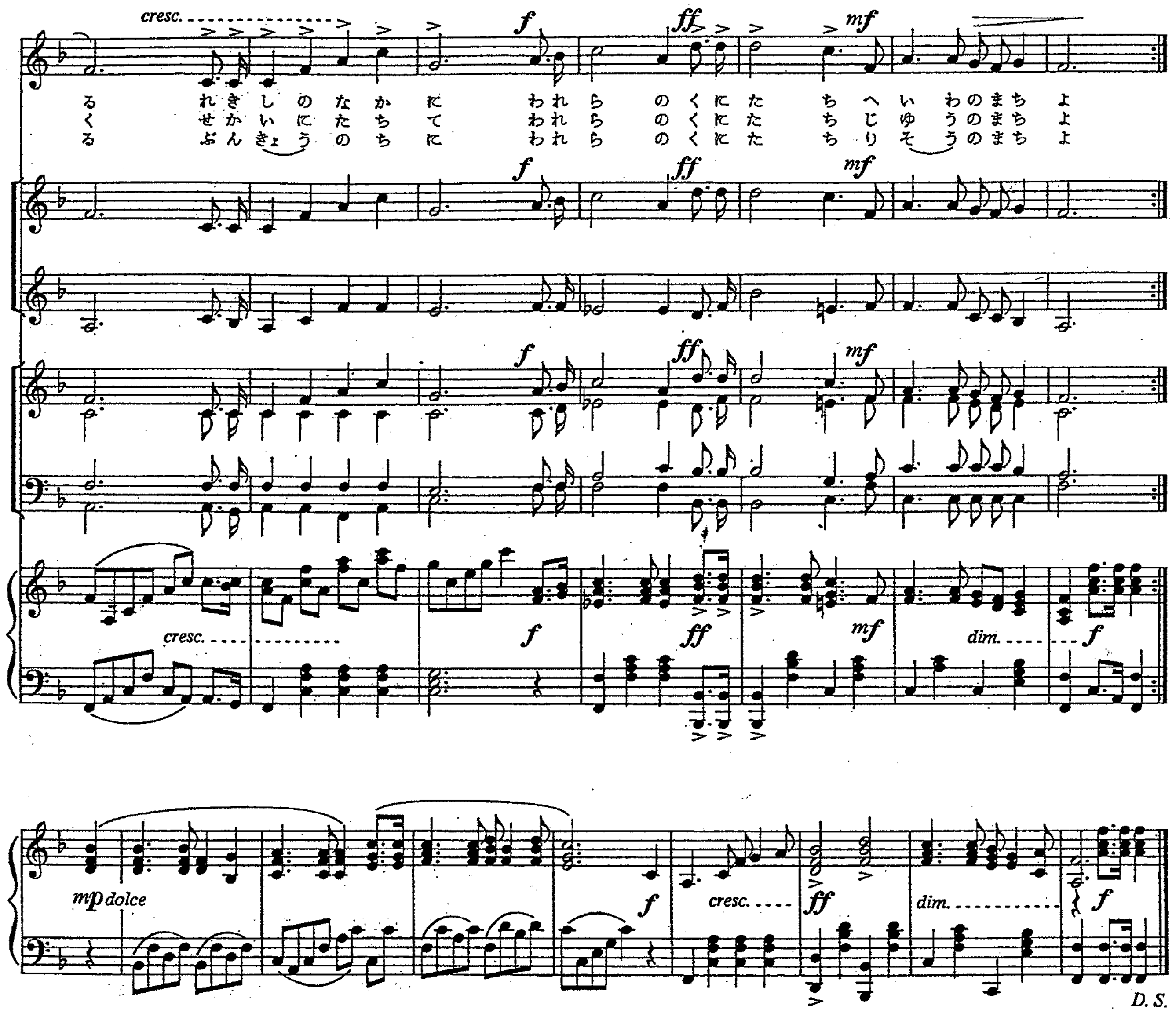
（昭和42年9月25日
告示第31号）

国立市の歌

長友貞雄　作詞
水野隆司　作曲


中庸の速さで，明かるく
ピアノ
独唱
二部
四部
mf
mp
f
ff
cresc.
dim.
1.むさしの の はてなんところ むらつくり いくよをかへて あたらしき まちはうまれぬ おおいなる
2.ちまたには ひかりあふれて まちびとの こころあかるく ゆるぎなき ちかいをまもる ひらけゆく
3.ふかみどり まつのはやしや とうたかく かねのひびきて おごそかに まことをつたう かがやける


cresc.
f
ff
mf
mp dolce
dim.
れきしのなかに われらのくにたち へいわのまちよ
せかいにたちて われらのくにたち じゆうのまちよ
ぶんきょうのちに われらのくにたち りそうのまちよ
D. S.

『国立市の歌』

長友　貞雄　作詞

一、むさし野の　はてなんところ
村つくり　いく代（よ）をか経て
あたらしき　まちは生まれぬ
おおいなる　歴史のなかに
われらの国立　平和のまちよ

二、巷（ちまた）には　ひかりあふれて
まちびとの　心あかるく
ゆるぎなき　誓（ちかい）をまもる
ひらけゆく　世界に立ちて
われらの国立　自由のまちよ

三、ふかみどり　松の林や
塔（とう）高く　鐘のひびきて
おごそかに　真理（まこと）を伝（つた）う
かがやける　文教の地に
われらの国立　理想のまちよ